

恒久平和を願い平和社会の実現を目指す決議（案）

本年は、戦後８０年にあたり、本市においては市制施行７０周年であるとともに世界連邦平和都市宣言を行ってから７０年の節目を迎える。

本市では全ての小・中・義務教育学校において、平和の尊さを学ぶ一環として平和学習のため広島県、沖縄県への修学旅行を行っている。

とりわけ京都と沖縄の関係は深く、先の大戦において、民間人を巻き込んだ激烈な地上戦が行われた沖縄の地において、京都府出身の将兵２，５３６名が犠牲となられた。

昭和３９年４月特に激戦を極めた宜野湾市嘉数高台公園内に、京都府沖縄慰霊塔建設奉賛会（一般社団法人沖縄京都の塔奉賛会）の方々のご尽力によって、慰霊のための沖縄「京都の塔」が建立された。その碑文には、「再び戦争の悲しみが繰り返されることのないようまた併せて沖縄と京都とを結ぶ文化と友好の絆がますますかためられるようこの塔に切なる願いをよせるものである」と刻まれている。

また、この同じ敷地には、昭和５０年６月に一般社団法人沖縄京都の塔奉賛会によって、戦火に倒れられた嘉数地区の住民３４３名を慰霊する「嘉数の塔」も建立されている。

亀岡市議会は、これまで長年にわたり、京都と沖縄との絆をつないでこられた京都の偉大なる先人たちのご遺徳に深甚なる敬意と感謝の意を表するとともに、現在世界各地で紛争が絶えないという非常に不安定な国際情勢が続いている中において、戦争という悲劇を二度と繰り返さないためにも、正しい歴史認識を後世へと引き継ぎ、世界平和の実現に向け努める。

以上、決議する。

令和７年６月 日

亀岡市議会